

運動会の取組

子どもたちの頑張りに 最大級の称賛を！

【運動会で目指すこと】

- ・ 集団の中の役割を意識し、協力して競技に参加することを通して、集団への所属感、連帯感を深める。
→ かつての運動会から大事にしてきていること。
- ・ 自分の目標に向かい主体的に参加し、運動に親しみ、身体を動かす楽しさを実感できるようにする。
→ 近年の取組の中で、より一層大事にしていきたいこと。

この2点を大事にしていくことで、今年度の重点である「自分で決められる子」「人間関係を築ける子」に必要な要素が子どもたちに PLUS されていきます。そこで、今年度は、各競技をこのような形で実施していきます。

かけっこ・短距離走

かけっこ（1，2年生）

- 50mを5～6人で走ります。（性別によらない身長順で）
- 「かけっこ」＝「駆け比べ」の考えのもと、順位票を渡します。
 - ・ 自分のこれまでの頑張りに自信をもったり、思うような結果にならなくても受け入れたりしながら、次の目標を目指す態度を養います。

短距離走（3年）

- 80mを5～6人で走ります。（性別ごとの身長順で）

短距離走（4，5，6年）

- 4年生は80m、5，6年生は100mを5～6人で走ります。（出走順は性別ごとの抽選で）
 - ・ 3～6年生も順位票を渡しますが、順位だけではなく自分のレベルアップを実感できる働きかけを加えていきます。
 - ・ 自己ベストの更新や目標タイムを目指し、当日だけではなく事前や事後の取組も大事にしていきます。

※札幌市で啓発しております『生涯スポーツ推進計画』の考えに基づく競技内容としました。「いい走り方だったよ。」「目標まであと少し、惜しかったね。でも、頑張りはすごく伝わってきたよ。」等のお子さんの頑張りに励ましの声掛けをしていただければ幸いです。

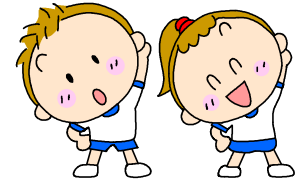


団体競技

低学年

○玉入れ

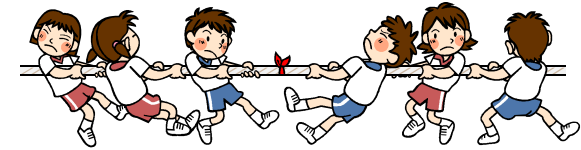
- ・玉を入れるだけでなく、合間にダンスも組み込み、子どもたちが楽しみながら競技に参加します。
- ・入った玉の数で勝敗が決まります。その結果に対して、適切な考え方や行動ができる力を養います。



中学年

○台風の日

- ・当日の競技だけではない練習時の作戦会議や振り返りにも十分な時間を費やし、子どもの「思考力」「友達との上手な関わり方」「団結力」を高めていきます。
- ・練習をする中で、一人一人の個性を大切にすることを養います。



高学年

○綱引き&リレー

- ・自分で競技を選択します。
- ・戦略会議や練習後の振り返りを通して、チーム競技のもつ楽しさを実感していきます。
- ・上手くいったことや上手くいかなかったことを経験し、試行錯誤する中で、仲間を思いやる心を養います。

表現

○上の学年が下の学年に教えたり、手本を示したりする中で、上の学年の子どもたちは「相手を思いやる心」を、下の学年の子どもたちは「憧れや尊敬の気持ち」が生まれるような取組をしていきます。

○一人一人が全力で頑張ることと集団として一体感を作ることの感動を味わわせていきたいと考えています。

お願い1

子どもたちと教師で共有してきたこのようなことを踏まえ、結果や出来栄のみならず、当日に至るまでの取組にも思いを巡らせ、子どもたちへたくさんの拍手や賞賛の言葉を贈っていただければ幸いです。

お願い2

子どもたちが楽しさを感じながら、もてる力を発揮できるようにするためには、観覧される方も含めた会場の一体感がとても大切です。場内アナウンスもいたしますが、「観覧場所の入れ替え」「前列の方は座る」「お子さんの出番が終わったら、次の方へ譲る」等の御配慮をいただければと思います。

お願い3

当日のグラウンド状況を含めたコンディションによっては、スタートとゴール位置を逆にするケースもございます。柔軟に御対応いただければ幸いです。